

次世代を担う才能あるデザイナーやアーティストの発掘・支援
受賞者とのコラボレーションも目指す、デザインとアートのコンペティション

「TOKYO MIDTOWN AWARD 2023」

～三澤 遥氏や中村拓志氏ら、7 名の審査員を新たに迎えて開催！～

東京ミッドタウン(港区赤坂 / 事業者代表 三井不動産株式会社)は、次世代を担うデザイナーやアーティストの発掘・支援、その先のコラボレーションを目的とした「TOKYO MIDTOWN AWARD 2023(東京ミッドタウンアワード)」を開催いたします。

今年で 16 年目を迎える「TOKYO MIDTOWN AWARD」は、東京ミッドタウンが“「JAPAN VALUE(新しい日本の価値・感性・才能)」を創造・結集し、世界に発信し続ける街”をコンセプトに、才能あるデザイナーやアーティストとの出会い、支援、コラボレーションを目指してデザインとアートの 2 部門で開催するコンペティションです。

アイデアや作品を生み出す『人』にフォーカスし、応募者の未来を支援するアワードを目指しています。なお、今年はデザインコンペで 5 名、アートコンペで 2 名、新たな審査員を迎えて開催いたします。

本アワードでは、顕彰後の受賞者支援やコラボレーションの機会創出にも積極的に取り組んでおり、東京ミッドタウンで実施される様々なイベントにおいてデザインやアートワークの提供・ワークショップ実施などを依頼するほか、新作発表の機会提供等も行っています。

アートコンペ

テーマ : 応募者が自由に設定

募集期間 4 月 24 日(月)～5 月 15 日(月)

東京ミッドタウンという場所を活かしたサイトスペシフィックな作品を募集します。テーマを自由に設定し、都市のまん中から世の中に、そして世界に向けて発信したいメッセージをアートで自由に表現してください。

デザインコンペ

テーマ : つながり

募集期間 6 月 9 日(金)～7 月 6 日(木)

人と人、人と社会、日本と世界、リアルとバーチャル— つながり方が多様化した一方で分断も進んでいます。少し先の未来を見据えた、新しい「つながり方」の提案をお待ちしています。

その他、各コンペに関する応募資格・方法等の詳細については 3P をご参照ください。

説明会

各コンペの説明会動画は、2023 年 3 月下旬頃にウェブサイトにて公開予定です。また東京ミッドタウン現地での説明会をアートコンペは 4 月 22 日(土)、デザインコンペは 6 月 10 日(土)に予定しています。詳細はウェブサイトおよび公式 Twitter にてご覧いただけます。

結果発表・授賞式

受賞作品発表・授賞式は、2023 年 10 月 5 日(木)に行う予定です。



「TOKYO MIDTOWN AWARD」シンボルマークについて

東京ミッドタウンを舞台に多くの才能が羽ばたいていくことを期待し、様々な才能が出会い・交差する、ハートに囲まれた才能の交差点を表現しています。

■掲載時の一般の方のお問い合わせ先■ 東京ミッドタウン・コールセンター TEL : 03-3475-3100

■東京ミッドタウン・オフィシャルサイト■ www.tokyo-midtown.com

■TOKYO MIDTOWN AWARD ウェブサイト■ www.tokyo-midtown.com/jp/award/

今年は7名の審査員を新たに迎えて開催

◆【アートコンペ】2名が新たに審査員に就任

2019年度から審査員を務めるクワクボリョウタ氏(アーティスト/情報科学芸術大学院大学 [IAMAS] 教授/多摩美術大学情報デザイン学科非常勤講師)、2021年度から審査員を務める永山祐子氏(建築家)、林 寿美氏(インディペンデント・キュレーター/成安造形大学客員教授)に加え、新たに金澤 韻氏、ヤノベケンジ氏の2名を迎えて審査を行います。



金澤 韻 / 現代美術キュレーター

東京芸術大学大学院美術研究科、英国ロイヤル・カレッジ・オブ・アート現代美術キュレーティングコース修了。熊本市現代美術館など公立美術館での12年の勤務を経て、2013年よりインディペンデント・キュレーターとして活動。近年の主な展覧会に「インター+プレイ」、「AKI INOMATA: シグニフィカント・アザネス」、「ウソから出た、まこと」、「毛利悠子: ただし抵抗はあるものとする」、「ラファエル・ローゼンダール: ジェネロシティ 寛容さの美学」(十和田市現代美術館、青森、2018~2022)、ヨコハマ・パトリエンナーレ 2020(横浜)、杭州繊維芸術三年展(浙江美術館ほか、杭州、2019)、「Enfance」(パレ・ド・トーキョー、パリ、2018)など。現代美術オンラインイベント JP 共同主宰。株式会社コダマシオン共同代表。



ヤノベケンジ / 現代美術作家/京都芸術大学教授/ウルトラファクトリー・ディレクター

1990年代初頭より、「現代社会におけるサヴァイヴァル」をテーマに機能性を持つ大型機械彫刻を制作。ユーモラスな形態に社会的メッセージを込めた作品群は国内外から評価が高い。2017年、「船乗り猫」をモチーフにした、旅の守り神《SHIP'S CAT》シリーズを制作開始。2022年に開館した大阪中之島美術館のシンボルとして《SHIP'S CAT (Muse)》(2021)が恒久設置される。

◆【デザインコンペ】審査員5名を一新し新たな体制に

5名の審査員を一新、新たなメンバーで審査を行います。審査員には篠原ともえ氏、菅野 薫氏、中村拓志氏、三澤 遥氏、山田 遊氏と多岐にわたるジャンルの方々に就任いただきます。



篠原ともえ / デザイナー/アーティスト

1995年歌手デビュー。文化女子大学(現・文化学園)短期大学部服装学科デザイン専攻卒。メディアでの活動を経て、衣装デザイナー、イラストレーター、テキストスタイルデザイナーとしても活躍。2020年アートディレクターの池澤樹とともにクリエイティブスタジオ「STUDEO」を設立。2022年デザイン・ディレクションを手掛けた革の着物作品がニューヨーク ADC 賞(銀・銅)、東京 ADC 賞を受賞。



菅野 薫 / クリエーティブディレクター/クリエイティブテクノロジスト

2002年、(株)電通入社。データ解析技術の研究開発職や、電通総研での主任研究員を経て、2013年クリエイティブ部門へ異動。デジタルテクノロジーと表現という専門性を活かして国内外のクライアントの商品サービス開発、広告企画制作など、幅広い業務に従事。

2022年1月、(株)電通から独立して、クリエイティブ・ディレクター・コレクティブ(つづく)を設立。経営戦略や事業戦略の立案、広告制作、プロダクト・サービス開発をはじめとしたデザイン、エンターテインメントの領域のクリエイティブ・ディレクションを中心に活動をしている。(つづく)



KEI Tanaka

中村拓志 / 建築家

1974年東京生まれ。鎌倉と金沢で少年時代を過ごす。1999年明治大学大学院で建築学修士を修めた後、隈研吾建築都市設計事務所を経て2002年 NAP 建築設計事務所設立。

自然現象や人々のふるまい、心の動きに寄りそう「微視的設計」による、「建築・自然・身体」の有機的関係の構築を信条としている。そしてそれらが地域の歴史や文化、産業、素材等に基づいた「そこにしかない建築」と協奏することを目指している。日本建築学会賞(作品)、日本建築家協会環境建築賞 大賞、日本建築士会連合会 建築作品賞 大賞、ARCASIA Awards for Architecture 2016, Building of the Year, LEAF AWARDS 2015, Overall Winner, WAN Sustainable Buildings of the Year, Winner ほか受賞多数。



三澤 遥 / デザイナー

日本デザインセンター三澤デザイン研究室室長。武蔵野美術大学准教授。同大学工芸工業デザイン学科卒業後、デザインオフィス nendo を経て、2009年より日本デザインセンター原デザイン研究所に所属。2014年より三澤デザイン研究室として活動開始。ものごとの奥に潜む原理を観察し、そこから引き出した未知の可能性を視覚化する試みを、実験的なアプローチによって続けている。主な仕事に、水中環境を新たな風景に再構築した「waterscape」、かつてない紙の可能性を探索した「動紙」、国立科学博物館の移動展示キット「WHO ARE WE」、隠岐ユネスコジオパーク泊まれる拠点「Entô」のアートディレクションがある。



山田 遊 / バイヤー

東京都出身。南青山のIDEE SHOPのバイヤーを経て、2007年、method(メソッド)を立ち上げ、フリーランスのバイヤーとして活動を始める。現在、株式会社メソッド代表取締役、武蔵野美術大学造形学部工芸工業デザイン学科客員教授、東京ビジネスデザインアワード審査委員長、グッドデザイン賞審査委員。国内外の店づくりを中心に、あらゆるモノにまつわる仕事に携わり、多岐に渡って活動が続ける。2013年「別冊 Discover Japan 暮らしの専門店」が、エイ出版社より発売。2014年「デザインとセンスで売れる ショップ成功のメソッド」が、誠文堂新光社より発売。これまでの主な仕事に、国立新美術館ミュージアムショップ「スーベニアフロムトーキョー」、21_21 DESIGN SIGHT「21_21 SHOP」、「GOOD DESIGN STORE TOKYO by NOHARA」、「made in ビエール・エルメ」、「燕三条 工場の祭典」などがある。

TOKYO MIDTOWN AWARD 2023 開催概要

部門	アートコンペ	デザインコンペ
応募期間	2023年4月24日（月）～5月15日（月）	2023年6月9日（金）～7月6日（木）
テーマ	応募者が自由に設定	つながり
	東京ミッドタウンという場所を活かしたサイトスペシフィックな作品を募集します。 テーマを自由に設定し、都市のまん中から世の中に、そして世界に向けて発信したいメッセージをアートで表現してください。 展示サイズ： ①約 H250cm×W200cm×D200cm以内 ②約 H318cm×W400cm×D70cm以内	人と人、人と社会、日本と世界、リアルとバーチャル—— つながり方が多様化した一方で分断も進んでいます。少し先の未来を見据えた、新しい「つながり方」の提案をお待ちしています。
出品料	無料	
提出物	未発表の作品案。ジャンルは問いません。	
応募資格	1. 個人またはグループ ※1グループ1作品案までとします 2. 国籍は問いません ただし、審査・設営・撤去・授賞式にあたり、事務局の指定する日時に東京ミッドタウンに来館できること 3. 応募書類提出時点で39歳以下の方 ※グループの場合、メンバー全員が条件を満たすこと	1. 個人またはグループ ※何作品案でも応募できます 2. 国籍は問いません ただし、2次プレゼン審査、授賞式にあたり、事務局の指定する日時に東京ミッドタウンに来館できること 3. 作品応募時点で39歳以下の方 ※グループの場合、メンバー全員が条件を満たすこと
応募方法	事前登録の上、Webフォームにて作品を提出 ※事前登録・Webフォームなどの詳細は公式サイトをご覧ください。 www.tokyo-midtown.com/jp/award/art/	事前登録の上、Webフォームにて作品を提出 ※事前登録・Webフォームなどの詳細は公式サイトをご覧ください。 www.tokyo-midtown.com/jp/award/design/
審査方法	・1次審査（6月中旬予定） 提出書類による審査後12点を選出 通過者のみメール・お電話にて通知 ・2次審査（7月4日（火）） 模型およびプレゼンテーション審査後、入選作品（6点）決定 ・最終審査（9月8日（金）） 入選者完成作品審査：各賞を選定 ※2次・最終審査は一部公開予定	・1次審査（8月上旬予定） 提出書類による書類審査で10点を選出 通過者のみメール・お電話にて通知 ・2次（最終）審査（9月6日（水）） 模型およびプレゼンテーション審査後、各賞を選定
授賞式	2023年10月5日（木）に開催予定	
賞	グランプリ（1点）：100万円 準グランプリ（1点）：50万円 優秀賞（4点）：各10万円 ★グランプリ受賞者をUniversity of Hawai'iのアートプログラムへ招聘します（感染症流行等の社会情勢により副賞の内容が変更になる場合がございます） ※入選者ひとり（または1グループ）につき、制作補助金100万円を支給します ※受賞者ひとり（または1グループ）につき、副賞としてトロフィーを贈呈します ※賞金総額：790万円（制作補助金含む） ※各賞については「該当なし」となる場合があります ※各受賞者に、翌年春に東京ミッドタウンで開催されるアートイベントにて新作を発表することができるなど、様々な受賞後サポートが提供されます ※2023年10月5日（木）に授賞式、10月5日（木）～11月12日（日）に展示を行います（予定）	グランプリ（1点）：100万円 優秀賞（3点）：各30万円 ファイナリスト（6点）：各5万円 ★グランプリ受賞者を国際家具見本市「ミラノサローネ」開催中にイタリア・ミラノへご招待します （グループの場合は2名まで。感染症流行等の社会情勢により副賞の内容が変更になる場合がございます） ※賞金総額：220万円 ※受賞者ひとり（または1グループ）につき、副賞としてトロフィーを贈呈します ※各賞については「該当なし」となる場合があります ※受賞・入選作品の公表後に実現に向けたサポートを行います ※2023年10月5日（木）に授賞式、同日より約1年間東京ミッドタウン館内に展示します（予定）
審査員	■金澤 韻（現代美術キュレーター） ■クワクポリョウタ（アーティスト / 情報科学芸術大学院大学 [IAMAS] 教授 / 多摩美術大学情報デザイン学科非常勤講師） ■永山祐子（建築家） ■林 寿美（インディペンデント・キュレーター / 成安造形大学客員教授） ■ヤノベケンジ（現代美術作家 / 京都芸術大学教授 / ウルトラファクトリー・ディレクター）	■篠原ともえ（デザイナー / アーティスト） ■菅野 薫（クリエイティブディレクター / クリエイティブテクノロジスト） ■中村拓志（建築家） ■三澤 遥（デザイナー） ■山田 遊（バイヤー）
主催	東京ミッドタウン	
協力	一般社団法人ノマドプロダクション	東京ミッドタウン・デザインハブ、株式会社JDN
後援	University of Hawai'i at Mānoa / Department of Art and Art History	—

※詳細はウェブサイトをご覧ください

TOKYO MIDTOWN AWARD の受賞者支援とコラボレーション

◆ デザインコンペ 受賞作品商品化サポートについて 19 番目に商品化した「hadawa」を販売中！

東京ミッドタウンは、「TOKYO MIDTOWN AWARD」デザインコンペの受賞作品を商品化するためのサポートを行っています。

2021 年 10 月に、「TOKYO MIDTOWN AWARD 2020」デザインコンペのグランプリ作品『hadawa(はだわ※受賞時の作品名は“uskin”)]』の商品化が決定し、hadawa 公式サイト(<http://hadawa.jp/>)と東京ミッドタウン内「中川政七商店街」にて販売中です。

「DIVERSITY」をテーマに開催した 2020 年度のデザインコンペで、1,465 点の応募の中から見事グランプリに輝いた本作品。“肌の色”をテーマにした作品も多かったこのコンペの中で、その美しさを落とし込んだリングです。

肌のグラデーションの輪は、人と人との繋がり象徴のようにも感じられます。



▲hadawa
(TOKYO MIDTOWN AWARD 2020 デザインコンペグランプリ作品)
受賞作家: CAMOTES<若田勇輔、金澤佐和子>

◆ 東京ミッドタウンで開催されるイベントに参加できる機会を提供

東京ミッドタウンで開催されるイベントにおける、インスタレーションの制作やデザインワークの依頼、三井不動産グループの手掛ける施設へ設置するアートワークの制作委託など、多様な支援を行っています。

<実施例>

Street Museum(ストリートミュージアム)

アートコンペ受賞者の支援として 2013 年より毎年春に展示企画「Street Museum」を開催しています。作家にとっては、東京ミッドタウンのオープンスペースで新たな作品発表を行う機会となり、今年も「TOKYO MIDTOWN AWARD 2022」のアートコンペ受賞作家 6 組が新作を展示します。期間中には、4 月、5 月の毎週土曜日にガイドツアー、3 月 18 日(土)には特別トークイベントを実施予定です。特別トークイベントではアワード審査員の生の声を聞ける機会となりますのでぜひご参加ください。2023 年 3 月 15 日(水)～5 月 28 日(日) / 東京ミッドタウン プラザ B1



▲ストリートミュージアム(昨年の様子)

◆ アートコンペ: グランプリ受賞者をハワイ大学のプログラムに招聘

アートコンペのグランプリ受賞者を University of Hawai'i の Department of Art and Art History が実施するアートプログラムに招聘いたします。数多くのアーティストや学者が招かれる歴史ある本プログラムに、これまでに 8 名のグランプリ受賞者が参加しました。実際にハワイに滞在し、ハワイの芸術文化に触れ、ハワイ大学の多彩なアートプログラムに参加しながら作品を制作・展示する機会が提供されます。(※感染症流行等の社会情勢により副賞の内容が変更になる場合がございます)



▲受賞後ハワイ大学アートプログラムに参加した中田愛美里さん(2022 年受賞)

◆ デザインコンペ: グランプリ受賞者を「ミラノサローネ」開催中に、イタリア・ミラノへご招待

デザインコンペのグランプリ受賞者を、毎年 4 月にイタリア・ミラノで開催される国際家具見本市「Salone del Mobile Milano (ミラノサローネ)」に、ご招待いたします。世界最大規模の家具見本市として開催される「ミラノサローネ」では、大手の企業から若手デザイナーの作品まで一挙に見ることができ、多くの刺激を得ることができる機会となります。

※グループの場合は 2 名まで

(※感染症流行等の社会情勢により副賞の内容が変更になる場合がございます)



▲ミラノ招待の様子(2018 年受賞の
広川楽馬さん、迫健太郎さん、中塩屋祥平さん)

「TOKYO MIDTOWN AWARD 2015」の活動は「メセナアワード 2016」で優秀賞「東京なかつまち芸賞」を受賞しています

「TOKYO MIDTOWN AWARD」を通して、受賞作品の商品化や受賞者の海外視察など幅広い支援により、日本の若い才能を見出していることに加え、2015 年度の活動ではイタリアのミラノデザインウィーク開催中に作品出展も行い、その魅力を国内外で多方面に発信したことが評価されました。メセナアワードとは、公益社団法人企業メセナ協議会が主催し、企業による芸術・文化を通じた社会創造の観点で特に優れた活動を顕彰するものです。



東京ミッドタウンについて



東京ミッドタウンは、広大なグリーンと6つの建物からなる複合都市です。街にはさまざまなショップやレストラン、オフィス、ホテル、緑地、美術館などの施設が集まっています。

四季を感じるイベントで季節に寄り添い、いたるところに息づくデザイン・アートや「TOKYO MIDTOWN AWARD」が発掘した若き才能にふれて新たな発見を。そして街に根づくおもてなしで心が解きほぐされていく。

それらを融合させることで訪れた人に、上質で心地よい場所と時間を提供することを目指しています。

<https://www.tokyo-midtown.com/jp/about/>

三井不動産グループの SDGs への貢献について

三井不動産グループは、「共生・共存」「多様な価値観の連繋」「持続可能な社会の実現」の理念のもと、人と地球がともに豊かになる社会を目指し、環境(E)・社会(S)・ガバナンス(G)を意識した事業推進、つまり ESG 経営を推進しております。当社グループの ESG 経営をさらに加速させていくことで、日本政府が提唱する「Society 5.0」の実現や、「SDGs」の達成に大きく貢献できるものと考えています。また、2021 年 11 月には「脱炭素社会の実現」、「ダイバーシティ&インクルージョン推進」に関し、下記の通りグループ指針を策定しました。今後も、当社グループは街づくりを通じた社会課題の解決に向けて取り組んでまいります。

【参考】・「脱炭素社会実現に向けグループ行動計画を策定」

<https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/news/2021/1124/>

・「ダイバーシティ&インクルージョン推進宣言および取り組み方針を策定」

https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/news/2021/1129_02/

※なお、本リリースの取り組みは、SDGs(持続可能な開発目標)における 1 つの目標に貢献しています。

目標17 パートナリシップで目標を達成しよう

